

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成19年7月28日

【評価実施概要】

事業所番号	2270200203		
法人名	株式会社菱南		
事業所名	ケアビレッジ須崎		
所在地 (電話番号)	下田市柿崎999-2		(電 話) 0558-27-1707

評価機関名	静岡県社会福祉協議会		
所在地	静岡市葵区駿府町1-70		
訪問調査日	平成19年5月15日		

【情報提供票より】(19年4月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年10月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤11人, 非常勤 6人, 常勤換算	14.2 人

(2) 建物概要

建物形態	単独	改築
建物構造	鉄筋造り	
	3 階建て	1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000~70,000 円	その他の経費(月額)	24,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(家賃1ヶ月分)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000円

(4) 利用者の概要(4月25日現在)

利用者人数	16 名	男性	6 名	女性	10 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 74 歳	最低 57 歳	最高	91 歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	鈴木クリニック、共立湊病院、石原歯科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

企業の保養施設であった建物を改築して開設したホームで、1年半が経過する。これまで職員の入れ替わりが多かったり、運営的にも十分安定していない面があったが、ようやく落ち着いて利用者本位のサービス提供を行うために、職員が一丸となって取り組んでいる。管理者をはじめ職員は、利用者一人ひとりの思いを十分に受け止めてさりげないサービス提供に徹している。ホーム自身が自らの課題を常に大きく受け止めており、今後の取り組みには大いに期待できる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>今回は初めての受審である。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>初めて実施する自己評価であるが、その意義を十分に理解して職員全体で取り組んだ。前向きに熱心に取り組んでいる。</p>
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	<p>運営推進会議を定期的開催し、その中での意見を職員に伝えるとともに、それを踏まえた取り組みを行うように努めている。それらをもとにメンバーを増やそうと検討している。ホームの理解を地域に深める役割をも担っている。</p>
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	<p>家族との連絡を密にして、意見や要望を把握するように努めている。開設1年半を経過する中で、家族からの意見を更に積極的に把握するとともに、外部への連絡先を明確にする取り組みについても行って欲しい。</p>
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>ホームが開設されている場所が高台にあり、周囲が別荘や企業の保養所等が多くあるため、地域との関係はやや希薄であるが、ボランティアの受入れを積極的に行い、運営推進会議を活用して地域との連携を模索している。そのような状況を踏まえても、職員の思いから今後の取り組みに期待できる。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしく暮らし続ける」ことを念頭に、5項目の理念を掲げている。職員の行動規範的な理念を全ての職員で見直してホーム独自の理念を策定したいと考えている。	<input type="radio"/>	具現化するホーム理念の策定に向けて前向きに考えているので、独自の理念策定に向けての取り組みを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常業務のなかで、職員には逐次伝えているが、平成17年10月の開設以降、職員の移動や離職も多いため、十分に行えていないという課題を認識している。	<input type="radio"/>	十分に共有していないという課題をホーム自ら考えているので、十分な取り組みに期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームの開設場所が、企業の保養所や病院、別荘等に囲まれており、地域住民が流動的でもあるため、その関係はやや希薄となっている。しかしその必要性和意義については認識している。	<input type="radio"/>	地域の実情に応じて、あらゆる社会資源を活用した関わりがもてるように取り組むことを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム開設以降初めての取り組みであり、戸惑いながらも職員とともに取り組んでいる。その評価内容については、今後計画的に確認していくように考えている。	<input type="radio"/>	自己評価及び外部評価結果についてそれを活かした取り組みに期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的で開催し、そこから出された意見は運営に反映させるようにしている。また、会議からでた会議の参加者を増やすように検討している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村とは必要に応じ連絡をとり、入居状況の報告等を行っている。市内の関係者連絡会にも出席して、関係を広める取り組みをしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶりや健康状態を担当職員が手紙で毎月知らせている。併せて、小遣い帳(金銭出納帳)の写しも添付して領収書を添えて送付している。	○	必要無いとする家族もあるとのことであるが、利用者との関係を維持するためにも連絡を行うように努めて欲しい。また、定期的なホーム便り発行なども検討して欲しい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの相談や意見、不満をできる限り何うように努めている。しかし、重要事項説明書に苦情申出の連絡先明記が、内部、外部ともに無い。	○	利用者及び家族が相談や意見、苦情申出が内外部にできるように連絡先の明記をして欲しい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホームの開設以降、移動や離職者もあつたがようやく落ち着いてきている。利用者の馴染みの関係を構築し、信頼関係を深めるように取り組んでいる。	○	引き続き、職員の入れ替わりが利用者に与える影響を認識して、取り組みを期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	質の向上を図るために、研修の必要性を感じているが、時間をとっての内部研修を行うことができていない。日常業務のなかでは、それに準じることができるように取り組んでいる。外部研修の受講の必要性も理解しているが、計画的に行えていない。	○	サービスの質の向上を図るために、計画的な研修実施に期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内介護保険事業所等との定期的な情報交換の場があるので、相互学習とネットワーク作りを行っている。同業者(GH)が近隣に無いので定期的な学習会までを実施することは難しい状況である。	○	利用者本位のサービス提供を今後も行うために、地域の介護サービス事業所等との連携を今後も深めていくことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者及び家族との信頼関係を深めたいと、利用者が納得するサービスを提供するように努めている。できる限り、家族との連携も意識して連絡を取るよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は常に利用者の立場にたって物事を考えている。できる限り、利用者寄り添ったサービス提供を考えているが、日々の業務に追われ、その取り組みがやや行えない状況もある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの意向を把握し、それを踏まえて、適切なサービスを提供していくよう取り組んでいる。また、その手法についてもより良い方法で行うよう取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族、それを取り巻くケアマネ等の意向を踏まえて、利用者本位の介護支援計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月に一度は介護計画内容についての確認を行い、計画についての意見を出し合って内容を検討している。また、必要に応じて見直しを適切に行っている。また、その内容を利用者及び家族にも説明している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホーム機能を活かして、利用者を中心とした支援が行われている。時々々の要望を踏まえた柔軟な取り組みが行えるように配慮している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホーム協力医療機関が利用者のかかりつけ医となっている。利用者及び家族も納得しており、定期的な受診支援が行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期等のいわゆるターミナルケアのあり方にも関心を持って検討している。関係者の意見や協力を得て、積極的に対応していく考えであり、その方針を定めることを検討している。	○	重度化や終末期の対応方法については、今後も十分に検討した上でその方針について定めて欲しい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の取り扱いは適切に行われている。利用者のプライバシーへの配慮についても十分に留意し、また尊厳を大切にして接するように心掛けられている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの意向に沿った支援が行えるよう心掛け、その時々々の要望にも対応できるような柔軟な対応が図られている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備も職員と利用者が一緒に行うようにしている。食事中も職員が楽しく食事できるように配慮している。また、一人ひとりに合わせた食事支援も行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	自分で入浴できる人は好きな時間にいつでも入浴しているが、概ね午後入浴となっている。入浴を嫌がる人には、入浴チェック表で2日に一度は入浴するように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム内の役割分担が自然に行われている。調理の手伝い、食後の片付け、テーブル拭き、廊下の掃除機かけ等、率先して行っている。花の植え替えやカラオケも楽しんでいる。散歩が自由にできない立地条件なので、自動車を活用して外出するように配慮している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームが山の斜面に面しているため、気軽に散歩に出かけるといった状況ではないが、一人ひとりの要望にできる限り応えるように努力している。買い物や散歩、花見等の個別に対応するようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	以前、利用者が3回無断外出したことで、家族に了解を得て夜間と職員の手薄の時間帯に施錠している。かなりの急な坂道に面し、空き地も雑草が深い山の斜面に面しているため安全性を考慮しているとのことである。	○	立地や職員の勤務の関係でやむを得ない状況もあるが、できる限り施錠せずに見守りで対応する検討を定期的に行うように期待する。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て年に一度防災訓練を行っている。地域への協力も得たいが、条件的に難しい部分がある。	○	あらゆる場面を想定した対策を講じて欲しい。地震や火災等の災害時に、どのように利用者の安全確保を行うか等の検討を行って欲しい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量のチェックを行っている。水分補給も食事時や入浴後は行うようにする等、一人ひとりの摂取量の把握も併せて行っている。また、かかりつけ医にも確認している。	○	職員には、管理栄養士もいるとのことであり、栄養バランスの確認等について検討して欲しい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	企業の保養施設を購入し、改修した造りであるので、家庭的といえない部分もあるが、共有部分の広さを活かした装飾や活用で工夫がされている。景観も素晴らしいものがあり、居心地良く過ごせるように工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室により異なるが、とても広い空間を確保している。利用者の好みに応じた装飾や調度品の持込により、個性ある居室づくりが行われている。		